

シリーズ  
学校・園では今  
13

久居中学校区子ども  
支援ネットワークの取り組み

活動  
テーマ

「自分が好き」「家族が好き」  
「人が好き」「地域が好き」と  
言える人の輪づくり

社会の中にある偏った意識やさまざまな生活環境の中で「生きにくくさせられている」子どもたちの現実があります。久居中学校区では、これまでも、そのような子どもたちを中心に、全ての子どもたちが安心して過ごせる「生きやすい」地域づくりを目指して、人権活動を展開してきました。

子どもたちが「生きやすい」地域づくり

地域における  
人と人のつながり



地域課題を中心に  
据えて子どもたちの  
生活を地域ぐるみで見る

子ども支援ネットワーク

- 「久居元気会」(久居地域の商店の皆さん)
- 津市人権・同和教育研究協議会久居支部
- 成美地区社会福祉協議会
- 久居中学校区内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校
- 久居中学校区内のPTA等学校関係団体
- 市、県の教育委員会



平成26年度の取り組み

意見交換会

話し合いの視点

- ▶暮らしの中にある人権・暮らしづくりにかかわって
- ▶生活の中にある人権問題「誰もが幸せを感じる地域社会とは」

各学校でPTA会長・保護者会代表と、各校園長・人権・同和教育担当で事前協議を行い、その話し合いをもとにネットワーク参加者全員で意見交換を行いました。

意見交換では、「自分自身が子どもの頃、在日コリアンの子に差別をしてしまった体験」や「自分の子どもの『障がい』にかかわっての、周りの意識と家族としての思い」、「中学生のときに習った部落問題を通して、自分が変わったこと」などたくさんの思いが語られ、参加者がその思いに意見を返していく形で行われました。

意見交換会では、大切にしていきたいこととして地域で子どもを育てること、そして地域の人がつながることを通して、子どもたちに地域を好きになってもらいたいということが確認されました。

人権啓発講演会

これからの活動内容を考えるために、人権啓発講演会を行いました。大阪府寝屋川市で保護司として活動している丸山涼子さんを講師に招き、自身が小学校長時代に地域と共に進めてきた子ども支援ネットワークの活動を、具体的事例や子どもの姿を交えてお話しいただきました。

参加した保護者の感想

- ★「地域」と「保護者」の立場で、自分の子だけでなく、周りの子どもたちを見守っていききたい。
- ★学校とかかわって一緒に子どもたちを見ていくために、もっと学校を開いてほしい。
- ★学びの基盤作りの大切さを痛感した。それを学校だけで何とかしようと思わず、家庭や地域と連携することで、より子どもを輝かせることができる。

このように、学校・家庭・地域の連携、校区の課題の共有・解決に向け協働していくことの大切さを再認識したという意見が多く寄せられました。

一年の活動を通しての振り返り

今後の活動について「もっと参加してくれる団体を増やしていきたい」「自分たちでテーマを決めて学習してはどうか」などの意見が出されました。

「発信する組織から協働する組織へ」

身近にある人権課題を、自分自身の問題として受け止め、あらゆる差別を解消するための「実践力」や「行動力」を身につけながら、これからも活動していくことが確認されました。



全ての子どもたちが  
「生きやすい」地域を目指して